

# 第4期天草市河浦地域まちづくり計画

～みんなが主役の笑顔あふれるまちづくり～

天草市 河浦地域

制 定 日	令和8年3月1日
改 正 日	初版

## 第4期天草市河浦地域まちづくり計画 目次

<b>1 計画のあらまし</b> . . . . .	<b>1~2</b>
1.1 計画策定の趣旨 . . . . .	1
1.2 計画の性格 . . . . .	1
1.3 計画の期間 . . . . .	1
1.4 計画の体系 . . . . .	2
<b>2 河浦地域の概要</b> . . . . .	<b>3~7</b>
2.1 位置・地勢 . . . . .	3
2.2 面積・土地利用 . . . . .	3
2.3 人口・世帯数 . . . . .	4~7
<b>3 めざす姿</b> . . . . .	<b>8~10</b>
3.1 めざす姿をどのように実現に近づけるか . . . . .	8~9
3.2 取り組みによって解決が期待される課題 . . . . .	10
<b>4 計画の推進体制</b> . . . . .	<b>11</b>
4.1 実施 . . . . .	11
4.2 評価・改善 . . . . .	11
<b>5 地域別計画（第6期）</b> . . . . .	<b>12~28</b>
5.1 新合地区振興計画 . . . . .	12~15
5.2 一町田地区振興計画 . . . . .	16~19
5.3 富津地区振興計画 . . . . .	20~23
5.4 宮野河内地区振興計画 . . . . .	24~28

## 1 計画のあらまし

### 1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少や過疎地域の増加、少子高齢化や地域の担い手不足などにより、継続した地域活動やコミュニティの維持が懸念されています。そのような中、地域における人々のつながりや、共助による活動の推進、また、一人ひとりが地域に対する愛着や誇りを持つことが、持続可能なコミュニティの形成につながります。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市河浦地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第3期天草市河浦地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

### 1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

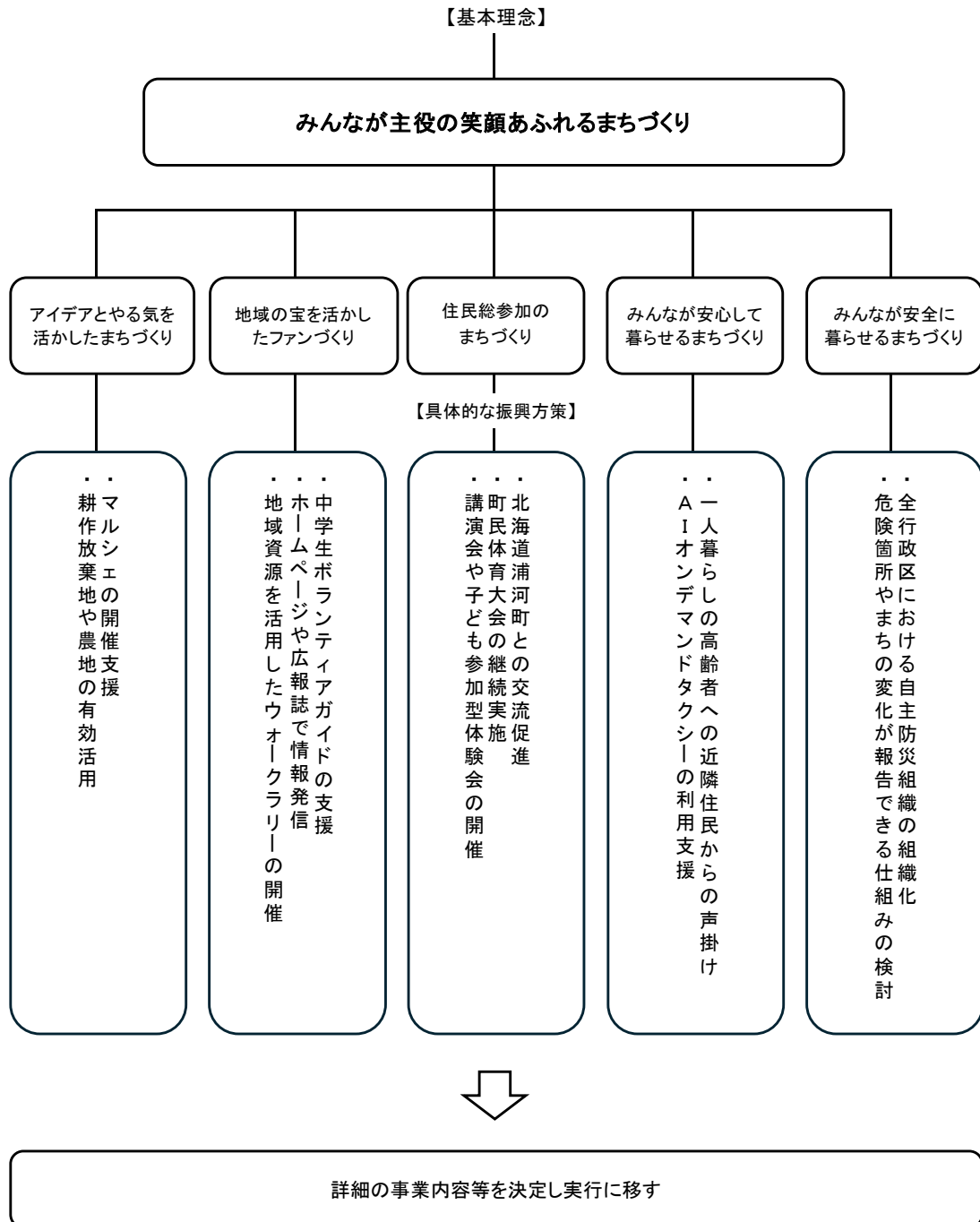
### 1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和11年度までの4年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

## 1.4 計画の体系

図1 天草市河浦地域まちづくり計画の方策の体系



## 2 河浦地域の概要

### 2.1 位置・地勢

本地域は、新合・一町田・富津・宮野河内の4地区で構成されています。天草下島の中央部に位置し、東は不知火海、西は東シナ海に接し、中央を流れる一町田川は羊角湾に注ぎ、河口付近に約150haの水田が広がっています。

産業は第3次産業を主としていますが、農業では米や温暖な気候を活かした柑橘類など、漁業ではエビ・ヒオウギ貝・真珠などの養殖がおこなわれています。

2018年（平成30年）7月には「天草の崎津集落」が世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の一つとして登録され、集落の中に崎津教会があり美しい漁村景観を見ることができます。また、南蛮文化やキリシタンの歴史など多くの資源に恵まれ、市指定無形民俗文化財の「産島八幡宮例大祭」「一町田八幡宮虫追い祭り」が執り行われています。

図1 河浦地区位置図



### 2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は119.34km<sup>2</sup>で、市面積の約17.4%（表1）を占めています。土地利用については、農地11%（13.2km<sup>2</sup>）、山林65%（78.0km<sup>2</sup>）、宅地1%（1.4km<sup>2</sup>）となっています。

表1 河浦地域土地面積（令和7年10月1日現在）

	河浦地域	天草市
面積（km <sup>2</sup> ）	119.34	683.82
割合（%）	17.4	100

（国土地理院九州地方測量部）

## 2.3 人口・世帯数

表2 河浦地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口（人）	5,836	5,219	4,589	3,837
世帯数（世帯）	2,188	2,072	1,920	1,686
世帯当たり人員（人）	2.67	2.52	2.39	2.28

（国勢調査）

図2 河浦地域の人口、世帯数の推移



表3 河浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	5,836	100.0	5,219	100.0	4,589	100.0	3,837	100.0
0～14歳	740	12.7	543	10.4	408	8.9	313	8.2
15～64歳	2,868	49.1	2,518	48.2	2,123	46.3	1,601	41.7
65歳以上	2,228	38.2	2,158	41.3	2,058	44.8	1,923	50.1

(国勢調査)

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図3 河浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移



表 4 河浦地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
就業人口総数	2,509	100.0	2,053	100.0	1,961	100.0	1,688	100.0
第1次産業	641	25.5	435	21.2	448	22.8	354	21.0
第2次産業	405	16.1	273	13.3	261	13.3	239	14.2
第3次産業	1,461	58.2	1,344	65.5	1,251	63.8	1,090	64.6

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図 4 河浦地域の産業別就業者数の推移



表5 河浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）

区分	令和7年		令和12年		令和17年		令和22年		令和27年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	3,206	100.0	2,647	100.0	2,132	100.0	1,673	100.0	1,288	100.0
0～14歳	235	7.3	173	6.5	127	6.0	90	5.4	63	4.9
15～64歳	1,190	37.1	869	32.8	650	30.5	493	29.5	364	28.3
65歳以上	1,781	55.6	1,605	60.6	1,355	63.6	1,090	65.2	861	66.8

（令和7～令和27：市政企画課）

※平成22年から平成27年の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて令和7年から令和27年までの将来予測人口を算出。

図5 河浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）



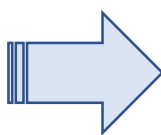
### 3 めざす姿

河浦まちづくり協議会は、令和8年に発足から20周年を迎えるにあたり、基本理念を「みんなが主役の笑顔あふれるまちづくり」とし、歴史と文化を継承し、一人ひとりが主役となり地域資源を活かし、災害に強い笑顔と活気があふれるまちづくりを推進します。

#### 3-1 めざす姿をどうやって実現に近づけるのか？

##### ① アイデアとやる気を活かしたまちづくり

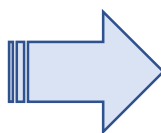
- マルシェ開催支援
- 耕作放棄地や農地の有効活用



- ・マルシェ開催支援（年2回）  
各団体と協働でイベントを実施する。
- ・景観作物の種子等の補助で地域の景観保全に取り組む。

##### ② 地域の宝を活かしたファンづくり

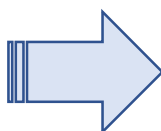
- 中学生ボランティアガイドの支援
- まち案内情報誌作成
- 地域資源活用で魅力発信と伝承



- ・崎津集落のファンを増加させるため教育の一環も含めた中学生ガイド支援とPRをする。
- ・まちの情報を集約した情報誌作成とメディア等を活用し各地区のイベントをPRする。
- ・まちづくり協議会広報誌を発行する。（年2回）

##### ③ 住民総参加のまちづくり

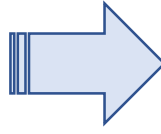
- 地域と連携し郷土愛を育む
- 町民体育大会の継続実施
- 北海道浦河町交流（ひと・もの）促進



- ・こどもが参加できる研修や体験会を実施する。
- ・町民体育大会は多様な種目を検討しながら継続実施する。
- ・浦河町交流を継続し交流人口と物産交流を拡大する。

④ みんなが安心して暮らせるまち

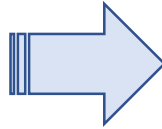
- 一人暮らし高齢者への声掛け
- 安心こどもの居場所づくり
- A I オンデマンドタクシー利用促進



- ・地域ぐるみで一人暮らし高齢者への声掛けをする。
- ・子どもが交流できる機会や居場所を提供する。
- ・A I オンデマンドタクシーの導入に向けた利用促進と利用方法の支援を行う。

⑤ みんなが安全に暮らせるまち

- 自主防災組織化
- 地域の危険や変化をキャッチする
- 市道クリーン作戦や花いっぱい運動で景観維持



- ・自助共助の意識を高めて災害に強いまちづくりを推進する。
- ・防災フェアを実施する。
- ・危険箇所把握のためLINE や日頃のウォーキングで町の変化を報告できる仕組みを検討する。
- ・地区振興会等に草刈機の貸出を行い、環境整備の支援を行う。

### 3-2 (3-1) の取り組みによって解決が期待される課題

- ①の「アイデアとやる気を活かしたまちづくり」によって、「まちの活気がない」という課題が解決される。

理由：各団体と協働でイベントを実施することで、まちの活性化を図ることができる。また、景観作物の栽培補助で地域の景観保全に取り組むことで、農地の有効活用を図り耕作放棄地の減少に繋げる。

- ②の「地域の宝を活かしたファンづくり」によって、「情報発信力が弱い」という課題が解決される。

理由：中学生ボランティアガイドを支援し崎津集落観光客のリピーター増加に繋げる。まちの魅力を詰め込んだ情報誌作成と各メディアを活用することで広域的な情報発信に繋がる。

- ③の「住民総参加のまちづくり」によって、「次世代の郷土愛を深める」という課題が解決される。

理由：親子や若い世代が参加できるイベントを開催することにより、関心事や意見聴取ができる機会を設け今後のまちづくりに繋げる。また、浦河町交流事業を継続することで、交流人口を増加させる。

- ④の「みんなが安心して暮らせるまちづくり」によって、「一人暮らしの高齢者や子どもの見守り支援」という課題が解決される。

理由：地域住民全員が顔見知りになり、高齢者や子どもに声掛けをすることで、交流の場や居場所づくりで見守りに繋がる。また、AIオンデマンドタクシーの利用方法など支援を行うことで移動手段を補うことができる。

- ⑤の「みんなが安全に暮らせるまちづくり」によって、「消防団員の確保が困難」という課題が解決される。

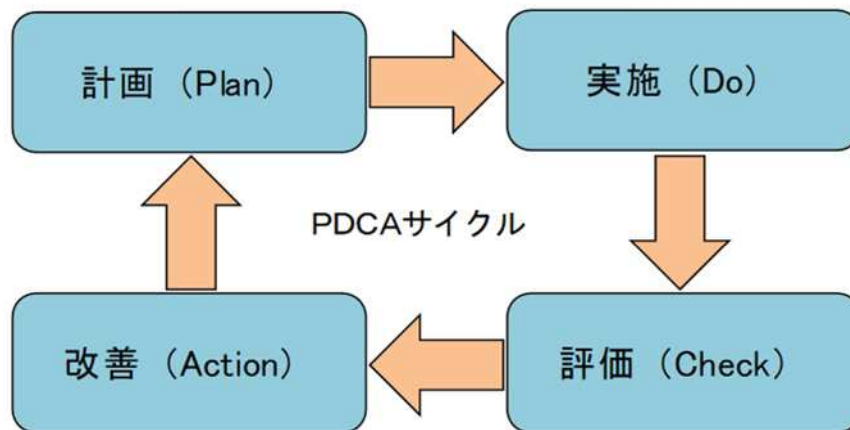
理由：地域コミュニティのつながりの強化と自助共助の意識を高めることで、災害に強いまちづくりに繋がる。また、自主防災組織率の向上と機能別消防団員の加入を促進することで消防力を補うことができる。

#### 4 計画の推進体制

本計画の推進体制については、河浦まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図6 天草市河浦地域まちづくり計画の評価・見直し（PDCAサイクル）




##### 4.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に河浦まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

##### 4.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上河浦まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)			
面積(km <sup>2</sup> )	17.6km <sup>2</sup>		
人口(人)	総人口		515
	15歳未満		50
	15～64歳		231
	65歳以上		234
高齢化率(%)	45.4		
就業人口(人)	第1次産業		60
	第2次産業		28
	第3次産業		172
世帯数(世帯)	総世帯数	220	
	高齢単身者	94	
行政区数(区)	4		
学校	河浦小学校、河浦中学校		
文化財・史跡	津留神社 お大師様と七鬼様神社(市ノ瀬) 竜王神社(大丸) 立原神社		
その他地域資源	頭岳 桜並木(市平地区・一町田川沿い) いぼ神様(平床) あじさいロード(立原区国道沿い) さざんかロード(国道266号線沿い)		
地域伝統芸能	立原神社の神楽 津留神社の行列、神楽、太鼓踊り 平床神社の神楽		
地域づくり団体	市平なんかしゅう会 新合青年部(夏祭り実行員)		
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>			
<p>森林に囲まれ自然豊かな地域である。地区のシンボルでもある頭岳は、標高約466メートルと下島南部で2番目に高い山である。山頂からは遠くは薩摩連山も眺めることができ、正月には初日の出を見る元日登山なども行われている。季節ごとに花が咲き誇り、観光客の心を和ませている。また、各地区ごとに散歩やジョギングコースなどがあり、住民の健康維持や体力づくりにも力を入れている。</p>			
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>			
<p>少子高齢化が進んでいる中で、地区の若者が基幹産業である農業を受け継ぎながら兼業で営んでいる。ただ、雇用の場所を求め地域を離れて行く者も多い。地区の祭りなどは、人手不足に悩まされ縮小あるいは取りやめになっていくケースもある。</p>			

頭岳からの初日の出

◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テーマ	<b>伝統文化の遵守と生活圏内の防災対策の強化</b>
考え方	昔から執り行われきた文化や行事など大切に引き継ぎながら、現代に合わせた取り組みを考えていく。また、安心安全な地域生活を送れるよう防災対策をしっかりと強化していく。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	米生産農家の減少が加速している。 農地を荒らさない耕作物を検討している。	・新合のお米への関心を高めるための情報発信を行っていく。 ・荒地対策として、薬草(メドハギ)の栽培を拡大していく。 ○ふるさと宅配便 ○地域活性化事業
【B】 観光 ・ 文化	・季節ごとに地区を飾っている花などの手入れをしっかりと行う。 ・各地区ごとに行われている祭りなどが縮小しつつある。 ・北海道浦河町との交流事業を継続して行う。	・活動団体への補助金拡大 ・伝統文化への関心を高めるため、体験型講座の実施。 ・物産に関する情報収集。敬老会等でお祝い品として配る。 ○浦河町交流事業
【C】 地域 振興	・地区球技大会やグラウンドゴルフ大会などで体力づくりを呼び掛け、健康維持の推進に心がける。	・参加者の高齢化が進んでいるため競技する内容を検討していく。 ・住民全体で楽しめる演芸会などの開催を検討していく。 ○夏祭りの開催
【D】 教育	・公民館講座や自主学習での学べる講座をとりいれている。 ・伝統文化の継承(祭り)	・引き続き公民館事業と連携して、生涯学習につながる講座や、体験型講座など取り入れていく。 ○青少年育成事業
【E】 保健・医療 ・福祉	・基本的に個人で体力向上に努める。 ・独居世帯への声掛け運動 ・老人クラブ等で行っているサロンを活用し、安心して暮らせる体制を整える。	・健康福祉に関する講座や講演会など計画する。 ○各種講座
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・区単位で防災組織づくり ・避難所シミュレーション(HUG)開催 ・独居世帯へ声掛け	・防災組織に基づき連携体制を整えていく。 ○防災講座 ○自主防災活動

# 新合地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	ふるさと宅配便	新合の米を中心に県内外に住む同窓生へ送っている。	生産者の所得が上がるように米価格の見直しを行う。新規顧客を増やす。	→				振興会		
C	新年祝賀式	振興会役員や住民が集まり新年のあいさつを交わしあう会。	役員の意見を取り入れながら、継続を目指す。 参加者15名	→				振興会		
C	新生活運動	お返し品の廃止などを呼びかける。	年度初めに各世帯へチラシを配布し、周知を図る。	→				振興会		
C	元日登山	初日の出を見て一年の安全祈願を行う。	参加者40名	→				振興会		
C	頭岳ウォークラリー	地区のシンボルでもある頭岳へ登り、個々の体力づくりや自然観察など行い交流を深めてもらう。	参加者25名 登山道整備	→				振興会		
C	地区球技大会	3種目で競技を行っている。 ・グラウンドゴルフ ・ミニバレー ・ソフトボール	参加者の高齢化や人数不足を補うためルール改正を行っている。 参加者100名	→				振興会		
C	敬老会	70歳以上の方を対象にお祝いをする会で、式典と演芸の2部構成で行う。	出席者及び参加者を増やすため演芸鑑賞会を計画している。	→				振興会		
C	グラウンドゴルフ大会	地区住民、グラウンドゴルフ会員の親睦を図るとともに、参加者の体力維持に努める。	体力維持サポート	→				振興会		
D	青少年育成事業	伝統文化(しめ縄づくり、陶芸教室、竹灯籠など)の体験型講座	公民館講座と共催で行う。 参加者30名	→				行政+振興会		
E	各種講座	自主学習グループの利用促進や、住民対象に公民館講座の防災講座に参加してもらう。	自主防災組織の強化	→				行政+振興会		
F	自主防災活動	新合自主防災会を中心に地域の安全や安心して暮らせる環境づくりを共に行っていく。	一斉避難訓練の参加率アップと防災対策用品の整備	→				行政+振興会		

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )		61.1
人口(人)	総人口	1,889
	15歳未満	158
	15~64歳	765
	65歳以上	966
高齢化率(%)		51.1
就業人口(人)	第1次産業	154
	第2次産業	118
	第3次産業	554
世帯数(世帯)	総世帯数	798
	高齢単身者	190
行政区数(区)		13
学校	河浦小学校・河浦中学校	
文化財・史跡	六郎次山(国:名勝)一町田八幡宮虫追祭(市:無形民俗文化財) 薬師寺のナギ(市:天然記念物)、轟橋(市:建造物) 巖戸山観音寺の板碑(市:建造物)	
その他地域資源	河内浦城跡、下田城跡、南蛮船碇泊所跡、アルメイダ上陸地跡、 信福寺、安養寺、崇円寺、一町田八幡宮、古江大神宮、他地域の神社、 八十八観音石仏(中村区・主留区)、河内浦城跡公園、コレジヨ館、 コレジヨ庭園	
地域伝統芸能	一町田地区虫追い祭り、一町田八幡宮例大祭、一町田八幡宮寒詣、 各地区例大祭	
地域づくり団体	河浦同志會	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<p>一町田地区は、河浦町の中央に位置し、無形民俗文化財に指定された一町田八幡宮虫追祭やコレジヨ跡など、歴史文化資源や農産物にも恵まれている。また、縁結びの神で知られる古江大神宮や崇円寺(河内浦城跡)、轟橋などの観光資源も多く点在する。秋には各地区で例大祭を行い、伝統行事の存続継承もされている。また、近年は釜新田などには冬場に鶴が数羽飛来し、地域の人たちに話題を呼んでいる。</p>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<p>少子高齢化に歯止めがかからず、地区の人口は減少するばかりであり、地区の行事自体の存続が危ぶまれている現状である。また、それに伴い、事業への参加者が固定されつつあるため、一部の住民での取り組みになってしまっている。また、農業者の減少や身近な施設の統廃合や空家の増加が進み、交通難民や買い物難民の増加が今後危惧される。</p>		



一町田川でシーカヤック体験

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<h2>みんなで支え合う心豊かなまちづくり</h2>
考え方	<p>少子高齢化が進み高齢化率が53%を超える現状を踏まえ、住民が安心して暮らすために、地域資源の保全や利活用を行い、思いやりのある地域づくりを目指す。</p>

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業が基盤産業である。</li> <li>・耕作放棄地が増えている。</li> <li>・中山間地域の耕作放棄地が増加傾向にある。</li> </ul>	<p>○地域の現状を把握し、地域資源の有効利用ができるように関係機関と協力しながら町内外者へのサポートを行う。</p>
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一町田地区虫追い祭りの際は、多くの写真家がフォトコンテストのため来場される。</li> <li>・地区の歴史に由来する史跡や名所が多い。</li> </ul>	<p>○地域が一体となった取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫追い祭り</li> <li>・さくらまつり</li> <li>・河内浦・下田城探訪&amp;クイズウォークラリー</li> </ul>
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり団体との連携ができていないので今後検討をする。</li> <li>・年々人口が減り、イベント等の参加者が減少傾向にある。</li> </ul>	<p>○地域住民(高齢者)が参加できる事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会</li> </ul>
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内に小中学校が有り、各学校各地区振興会と連携を図り、子ども達の郷土愛を育てる事業を行う。</li> <li>・公民館と共催して生涯学習を推進する。</li> </ul>	<p>○自分の住む地域への郷土愛を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統行事への参加</li> </ul>
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が53%を超え、今後も増加することが予想される。住民みんなが安心して元気に暮らせるまちづくりを進めるための体制づくりが必要である。</li> </ul>	<p>○住民みんなが安心して暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進を目的としたスポーツ大会や、コミュニティセンターで開催されている自主活動への支援。</li> </ul>
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路愛護作業は各区で積極的に取り組まれている。花いっぱい運動は、限られた区だけになっているので、今後、支援体制を見直す必要がある。</li> <li>・区ごとの自主防災組織結成の推進を行う。</li> </ul>	<p>○地域の自然豊かな環境を後世に残すための取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全で快適なまちづくり</li> <li>・道路愛護作業</li> <li>・花いっぱい運動</li> </ul>
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民に地域の情報発信及び、ふるさとを離れた方に向けた情報発信を行う。</li> </ul>	<p>○地域情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会報誌の配布</li> <li>・ホームページ・Facebookからの情報発信</li> </ul>


# 一町田地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
B	虫追い祭り	旗竿競技・各種バザー・フォトコンテスト・ゲートボール大会を開催する。小学生を対象に一町田川でシーカヤック体験を行う。	来場者100人以上							振興会	
C	さくらまつり	一町田グラウンドゴルフ協会へ依頼しグラウンドゴルフ大会を開催する。一町田川河川敷の桜を見ながらウォーキングやお楽しみ抽選会を行う。	参加者300人以上							振興会	
C	公民館の整備事業	地区の公民館の建物修繕や設備機器の整備等必要経費の補助をする。(上限10万円)	年間通して実施							振興会	
D	校外学習事業	河浦小学校6年生を対象に施設の見学等を実施し、視野を広める。	河浦町内6年生全員参加							4地区振興会	ふるさと応援交付金活用
E	町民体育大会	スポーツ振興や健康増進のため、球技大会へ参加する。	各大会100人以上参加							まち協＋振興会	
E	一町田地区敬老会	75歳以上の方を対象に開催する。式典では金婚夫婦表彰伝達などを行い、保育園児や自主学習グループの演芸等のイベントを開催する。	年1回開催							振興会	
F	道路愛護運動	各区で道路の除草作業や花いっぱい運動を行う。	年1回:13区							振興会＋各区	
H	地域情報発信事業	会報誌の発行、ホームページ更新、Facebookへの投稿。	会報誌:年4回 HP、Facebook:随時							振興会	
B	歴史探訪ウォークラリー	地域内の文化や歴史について学ぶことを目的に、史跡や名所をめぐるウォークラリーを開催する	参加者30人程度							公民館＋振興会	
D	竹灯笼作りと懐かしい昔遊び及びしめ縄作り	小学生を対象に地元の方と一緒に作成し、竹灯笼はイルミネーションとして飾る	参加者30人程度							公民館＋振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p>世界文化遺産の構成資産「天草の崎津集落」</p>	
面積(km <sup>2</sup> )	20.6		
人口(人)	総人口		670
	15歳未満		54
	15～64歳		280
	65歳以上		336
高齢化率(%)	50.1		
就業人口(人)	第1次産業		52
	第2次産業		51
	第3次産業		191
世帯数(世帯)	総世帯数	335	
	高齢単身者	106	
行政区数(区)	8		
学校	河浦小学校・河浦中学校		
文化財・史跡	世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産「天草の崎津集落」 天草市崎津・今富の文化的景観(国指定)、鬼塚古墳(市史跡)		
その他地域資源	天草夕陽八景(2か所) ①マリア像の夕陽 ②拝瀬・鳴瀬の夕陽 遠見番所跡、琉球王使節船漂着地、紋付屋旅館跡(崎津観光交流広場) 八十八観音石仏(大川内区)、チャペルの鐘展望公園、崎津資料館みなと屋 崎津集落ガイドセンター、つどい処まつだ、よんなっせ		
地域伝統芸能	崎津諏訪神社大祭、今富神社大祭、崎津ハイヤ踊り		
地域づくり団体	教会の見える崎津みなとのフェスティバル実行委員会 花づくり団体(8団体)		
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>			
<p>「天草の崎津集落」は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として、平成30年(2018年)7月に世界文化遺産に登録された。「海の天主堂」と呼ばれる「崎津天主堂」(昭和9年建設)はそのシンボルで、集落と自然が一体となって、他では見ることのできない美しい景観をつくり出している。また、この一帯は雲仙天草国立公園に位置し「日本の渚・百選」で「キリシタンの里 崎津」、「日本のかおり風景百選」では海(潮)のかおりで「河浦崎津天主堂と海」、そして「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれている。</p> <p>夏には「教会の見える崎津みなとのフェスティバル」が開催され、冬には「天草ロマンティックファンタジー」として教会周辺のイルミネーションが行われている。</p> <p>今富地区には多くのキリシタン文化の史跡がある。小島地区には海上コテージという宿泊施設があり人気の観光スポットとなっている。</p> <p>羊角湾では戦後すぐから真珠の養殖が行われ良質の真珠が採れることで有名である。また、ヒオウギ貝の養殖も行われ、特産品として定着している。</p> <p>伝統の食文化としてアジやアンコウの干物、ジャガイモを使った「せんだご汁」がある。琉球王使節船が漂着したとき伝えられたといわれる「杉ようかん」やいちじく(南蛮柿)を使った菓子も販売されている。いちじく(南蛮柿)はキリスト教と共に伝えられたという。宣教師が伝えたといわれるクレソンもある。</p>			
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>			
<p>少子高齢化のスピードが著しく高齢化率は54%を超えている。地区の人口は減少するばかりで、行事の存続が難しく振興会事業の取り組みも役員のみでの参加となりつつある。</p> <p>基盤産業である漁業・農業の不振など、地域経済の見通しも大変厳しい。また、交通手段が少なく、車がなければ通勤・通学・通院など、日常生活がしづらい状況である。地区には食料品の店舗が1軒しかなく、移動販売車が訪れる地域もあるが、高齢者は買い物にも普段の生活にも不自由している。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>世界文化遺産を活用した「崎津・今富」の魅力発信と保全</b>
考え方	世界文化遺産である崎津・今富地区の景観の保全や地域の魅力を高める活動を行い、地域振興につなげる。また、高齢者が安心して暮らせるよう、互助意識を今以上に高めていきたい。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・崎津ガイドセンターの軒先を利用して土日のみ地元の方が家庭で栽培した米や野菜を販売して観光客だけでなく地元住民からも喜ばれている。	○崎津ガイドセンターの軒先や駐車場を利用し農産物や物品の販売を行い、賑やかさを生み出していく。
【B】 観光 ・ 文化	・観光資源は豊富であるが、それらを生かし切れていない。 ・今富地区の振興が遅れている。	○景観保護を推進する。 ○今富地域の振興を図る。
【C】 地域 振興	・崎津地区では地区外からの新規出店がある。 ・空地、空き家は個人の所有であり振興会での活用は難しい	○世界文化遺産を生かしたまちづくり。
【D】 教育	・わずかだが子どもの数が増えている。	○若い世帯が定着できるような地域づくり。
【E】 保健・医療 ・福祉	・高齢化率が54%を超え、今後も増加すると思われ、すべての住民が元気に安心して暮らせる地域づくりが必要である。 ・ふるさと応援交付金を活用した出産祝い金は喜ばれている。	○高齢者がいつまでも健康で安心して暮らせる互助体制づくりへの取り組みを行う。 ○子育て世帯への支援。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・年1回防災・避難訓練を実施している。 ・各区でクリーン作戦を行い環境美化に取り組んでいる。 ・琉球王使節船漂着地、さくら公園、小学校跡地の草刈りを行っている。	○地域全体で地区の安全を守る。 ○環境美化活動の推進を図る。 ○ゴミ出し、資源ごみ出しのルールを広く周知する。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	・住民への地域の情報の発信を行う。 ・SNSを使つての情報発信を行う。	○振興会広報の発行を行う。 ○ホームページの更新をする。 ○Facebook発信などを行う。


# 富津地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
D・E	子育て応援・教育支援事業	ふるさと応援寄付金を活用し、出産時に誕生祝金を贈り、若者定住促進事業として実施している。また小学6年生を対象に校外学習を行い、小中学校卒業生へのコサージュ贈呈などの教育支援の取り組みも行っている。(町内4振興会合同)	若い世帯の定住	→						振興会	
C	区公民館整備事業	区公民館の整備に必要な経費に対しふるさと応援交付金を活用し、予算の範囲内で補助金を交付する。	補助率50% 限度額10万円	→						振興会	継続についてはR8年度に協議する
E	富津地区グラウンドゴルフ大会	年代に関係なく世代間交流ができるイベントとして全地区住民を対象に実施する。	年3回実施する	→						振興会	
E	富津地区敬老祝	75歳以上で自宅在住の方に敬老祝として新米2キロを贈る。	75歳以上の住民が対象	→						振興会	
E	高齢者支援事業(愛の一声運動)	77歳以上ひとり暮らしの高齢者宅を昼間の時間帯に訪問し、世間話をしながら健康状態や困りごとがないかを確認する。防犯チラシなど持参する。	年1回実施する	→						振興会	
E	町民体育大会	スポーツ振興や健康増進のため、町民体育大会(5地区対抗球技大会)に参加する。	参加者の確保	→						まち協 振興会	
F	琉球王使節船漂着地管理	歴史ある地域資源を守るため、漂着日である7月16日前後の日曜日に振興会会員で草刈り清掃作業を行う。	年1回実施する	→						振興会	
F	さくら公園管理	大切な地域資源を守る観点から草刈り清掃作業を実施する。	年1回実施する	→						振興会	
F	富津ふるさとクリーン作戦活動支援	住民総出でゴミ・缶・ビン拾いを行い、世界遺産としての環境衛生・美化に努めていく。	年1回実施する	→						区	
F	地域防災活動事業	市の避難訓練に合わせ災害時の速やかな避難の訓練を行う。	年1回6月に実施する	→						区	
F	花による魅力ある地域づくり運動支援	年間を通して花のある地域づくりを行い、癒しの空間となるよう努め、来訪する観光客へ花でのもてなしを行う。	8団体	→						各団体 振興会	
F	富津まちづくり推進活動	有志の方による元旦登山へ協力。	元旦に実施	→						地元有志	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p>産島八幡宮例祭 海を渡る祭礼</p>	
面積(km <sup>2</sup> )	19.0		
人口(人)	総人口		763
	15歳未満		51
	15～64歳		325
	65歳以上		387
高齢化率(%)	50.7		
就業人口(人)	第1次産業		88
	第2次産業		42
	第3次産業		173
世帯数(世帯)	総世帯数	327	
	高齢単身者	154	
行政区数(区)	8		
学校	河浦小学校、河浦中学校		
文化財・史跡	ヘゴ自生地(県:天然記念物)・貨幣石産地(県:天然記念物) 産島八幡宮例祭(市:無形民俗文化財)		
その他地域資源	薬師寺堂の石塔郡、ハマナデシコ自生地(西高根)、八十八観音石仏(本郷南) 梶木岳展望(女岳外)、上平十五社宮、産島愛宕様(上平)		
地域伝統芸能	産島八幡宮例祭(神幸行列、獅子舞)		
地域づくり団体	絆心会、宮友会		
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>			
<p>宮野河内は、美しい海山に囲まれ、自然環境にも恵まれ気候も温暖である。 無人島の産島はキャンプ場もあり、夏になると釣りや浜遊びに来る観光客で賑わっています。また、天然記念物ヘゴ・ハマナデシコの自生地であり、秋に行われる郷土芸能(海を渡る祭礼・獅子舞・神幸行列)は、地元の方のみならず、県内外から見物に来られる。</p>			
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>			
<p>少子高齢化が進み、地区の人口は減少するばかりである。また、若者の働く場所がなく、学校もなくなり一段と地域離れが進んでいる。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>明るく生きがいのあるまちづくり</b>
考え方	地域の活性化・住民主体のまちづくりを推進し、住民自治の充実強化と自治組織の向上を図り、住民みんなで支え合い明るく、暮らしやすい地域づくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	山と海に囲まれた地域で基幹産業は農業と漁業であるが後継者も少なく従事者の高齢化が進み衰退している。	地域の基盤産業を守っていくため農業と漁業を支える共同組織づくり、後継者育成に取り組んでいく。
【B】 観光 ・ 文化	地区に伝わる伝統芸能を継承する後継者が減少している。	これまで守られてきた伝統を絶やさないために、住民総出で取り組んでいけるようにする。海を渡る祭礼への参加
【C】 地域 振興	年々イベント等の参加者が減少傾向にある。	イベント参加者が固定化されつつあるため、地域全体が一体となり参加できるような内容に見直す。
【D】 教育	学校がなくなり地域全体活気がなくなりコミュニティの活性化が大きな課題となっている。	子供が参加しやすいよう学校と協力して計画していく。
【E】 保健・医療 ・福祉	高齢化が進み行事等への参加が減ってきている。 高齢者のひとり暮らしが増え孤立しつつある。	高齢者が安心して生活していつまでも元気でいられるよう、誰でも参加できる軽スポーツや地域で活動されているスポーツ大会を通して、地域住民の健康づくりに取り組む。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	自然豊かな美しい景観が人口減少、後継者不足により失われつつある。	現在の景観を地域全体の協力の下極力維持する。 地域住民が安心して生活できる環境を整え、
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

# 宮野河内地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
C	区対抗ミニバレー大会	地域住民の健康と交流を兼ねて行っている。毎年大変盛りあがった大会だが参加数が年々減っている。内容や日程を検討し参加しやすいようにしていく。	80人	→					振興会	
F	クリーン作戦	各区で周辺の草刈りやゴミひらいをおこなっている。今後も地域を綺麗にすることで住みよい場所にしていきたい。	年に1回100人	→					振興会	
C・D	七夕飾り	地域の方々の指導のもと子供たちに七夕飾りと竹で作る箸と器を作りそうめん流しを楽しんで貰うとともに伝統行事の傳承と世代交流を進めます。	30人	→					振興会 公民館	
C・F	夏祭り	絆心会(若者が中心なり結成)を中心に夏祭りを開催し地元を盛り上げ、地域の活性化に繋がります。	330人	→					振興会	
C	振興会だより発行	振興会事業の報告や話題を提供	年4回発行	→					振興会	
B	秋の例大祭 産島八幡宮例祭	海を渡る祭礼として、地元のみならず県外からも観光に来られるが後継者不足により主催区(上平区)だけでは深刻である。	200人	→					上平区 振興会	
C	敬老会	長年の貢献への感謝と長寿をお祝いするため、75歳以上の方に対し御祝いのお菓子を区長を通じて配布している。長寿を祝う事業として実施していく。	220人	→					振興会	
D・F	防犯パトロール	夏休み期間、子供達その他徘徊されているお年寄り、釣り人に声かけをし、安心安全に暮らせる地域づくりを作っている	延べ20人	→					振興会	
F	花いっぱい運動	道路沿いに各老人会・女性部を中心に花苗を植栽し明るい地域づくりを進める。	年2回 延べ人数70人	→					振興会	
BCD	ウォークラリー	体づくりと交流の場をつくり山頂から宮野河内の素晴らしい景色を楽しんでもらい、地域の魅力の再発見に繋げる。	40人	→					振興会 公民館	
B・C	しめ縄づくり	地域の方々と交流としめ縄の文化の継承に取り組んでいきたい。	30人	→					振興会 公民館	
E	出産お祝い金	ふるさと応援寄付金を活用し、宮野河内住民の定住促進と子育て支援に繋がりたい。	3人	→					振興会	
B	郷土料理	昔から伝わるクサギナ、あおさなどを使った郷土料理を開催。地域のふれあいの機会をつくり懐かしい味を楽しんでもらっている	20人	→					振興会 公民館	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



